

当院における 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について



* 医師から処方されるお薬

出典：政府広報オンライン(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201309/4.html>)

後発医薬品（ジェネリック医薬品とも呼びます）とは、先発医薬品（新薬）の特許が切れた後（20～25年後）に販売される先発医薬品と同じ有効成分を同じ量含有し、同等なお薬とされています。

果たして先発医薬品と全く同じなのでしょうか？



有効成分は同じですが、添加物や製造方法は異なります。添加物は、主に胃酸や消化液などから薬を守るためのコーティングの部分に使われています。添加物が違うと考えられる起こることは、一つ目は、アレルギー反応（薬疹）です。二つ目は、効果の違いです。特に痛み止めでは顕著に違いが出ています。実際、先発医薬品から後発医薬品に変更してこれらの事例が起こり、先発医薬品に戻したらもどに戻ったという報告が寄せられています。

後発医薬品のなかには、オーソライズドジェネリック（AG）と言われる先発医薬品メーカーが認定し、先発医薬品と同一の原薬、添加物、製造方法等で製造された医薬品があります。当院でも採用しています。

全ての先発医薬品に後発医薬品があるわけではなく、また、先発医薬品の持つ効能・効果（適応）が後発医薬品には、なかったりします。

当院では患者様の治療に一番効果的なお薬を選定して提供しています。

お薬について、ご質問があればいつでも薬剤師にご相談ください。